

# 39 市民の防災意識を高めます

主要  
施策

- 39-1. 防災対策の推進
- 39-2. 防災備蓄食料の整備
- 39-3. 避難所などの確保と自主防災組織の育成

現況と  
課題

○恵庭市の災害は、過去において水害による被害が多く、地域防災計画も風水害対策を中心の防災対策でした。しかし、地震や火山噴火などの大規模な災害に対する対策も必要なことから、平成9年に地震災害対策編、平成15年に火山災害対策編を加えて、地域防災計画を見直し、各種災害に備えています。

○大規模災害が発生した場合の防災対策は、行政だけで対応できるものでないことから、「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、自主防災組織の育成を図っていくとともに、災害の予防対策や災害時における応急対策、災害復旧対策を効果的に実践できる体制の確立など、地域防災体制の確立が求められています。

基本  
方針

大規模災害に備えて防災意識を高めるとともに、自主防災組織の育成など、地域住民や事業所、ボランティアなどと協力して災害時に対応できる仕組みづくりを進めます。

主要  
施策

## 39-1 防災対策の推進

防災訓練や防災教育を推進するとともに防災設備の点検・整備に努め、緊急時に対応できる体制を確保します。

【主な事業】

- ・総合防災訓練の実施
- ・地域防災無線更新事業
- ・防災ガイドブックの更新
- ・コミュニティFMラジオの活用（再掲）

## 39-2 防災備蓄食料の整備

緊急時の食料を備蓄するとともに、市内民間企業と防災備蓄に関する協定を結び災害時に備えていきます。

【主な事業】

- ・防災備蓄協定の締結

### 39-3 避難所などの確保と自主防災組織の育成

地域住民や事業所、ボランティアなどと協力して災害時に対応できる仕組みづくりを進めるとともに、効率的に運営できるよう避難所を確保します。

#### 【主な事業】

- ・自主防災組織の育成



防災マップと備蓄品



キッズ防災キャンプの様子

# 40 治水対策を進めて安全で安心して暮らせるまちをめざします

主要  
施策

40-1. 千歳川流域の治水対策の促進

40-2. 河川整備事業の促進



河川改修(柏木川)

現況と  
課題

○千歳川流域には、広大な低平地が広がっていることから、洪水氾濫を繰り返しています。河川の氾濫や内水被害の軽減を図るため、治水対策を早期に実現することが重要な課題です。

○市内を流れる河川の改修にあたっては、河

川環境の保全と市民が川とふれあえる親水空間の整備が求められています。

基本  
方針

千歳川流域の治水対策を促進するとともに、市内各河川の河川整備を進め、洪水被害の無い安全・安心の地域をめざします。

**主要  
施策****40-1 千歳川流域の治水  
対策の促進**

千歳川河川整備計画にもとづき、千歳川流域治水対策の早期実現に向けて国、道、流域自治体が連携して治水対策を進めます。

**【主な事業】**

- ・千歳川河川整備の促進

**40-2 河川整備事業の促進**

漁川、茂漁川、ユカンボシ川、柏木川、島松川、ルルマップ川河川整備事業を促進するとともに、市民の憩いの場としての親水空間づくりに努めます。

**【主な事業】**

- ・河川整備事業の促進



# 41 消防・救急体制を充実します

主要  
施策

- 41-1. 消防力の充実
- 41-2. 火災予防対策の充実
- 41-3. 救急救助対策の充実



消防本部指令室(有明町)

現況と  
課題

○本市の消防体制は、常備消防 1 本部 1 署 2 出張所、非常備消防 1 団 5 個分団で組織されています。各種の災害に対応し、災害事象の変化に応じた消防体制の充実を図るとともに、市民の防火意識の高揚に努めるなど、予防消防の強化が必要です。

○地域防災の中核的存在である消防団は、近年、団員数の減少傾向が見られるため、地域防災体制の充実と大規模災害に備えるためにも青年・女性層の加入促進を図っていく必要があります。

○本市の救急需要は、高齢化の進展や疾病構造の変化から年々増加しています。また、救急現場や搬送途上において呼吸・循環不全に陥る傷病者が増加する傾向にあることから、救命率の向上に努める必要があります。

基本  
方針

市民の防火意識を高めつつ、複雑多様化する消防活動に対応できる車両・装備を更新とともに、医療機関と連携した救急救助体制の整備や市民を対象にした救命講習の普及に努めます。

